

環境王国「いわて」を担う  
いわて第2クリーンセンター

# 環境活動レポート 2014

対象期間 2013年4月1日～2014年3月31日



2014年1月7日 正門前にて

いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 松島 義治

発行日 2014年4月30日

# もくじ

- 1. 会社概要・・・・・・・・・・・・ P2
- 2. 事業概要・・・・・・・・・・・・ P3
- 3. 施設概要と特徴・・・・・・・・ P4
- 4. 許可品目・・・・・・・・・・・・ P6
- 5. 環境方針・・・・・・・・・・・・ P7
- 6. 組織図・・・・・・・・・・・・ P8
- 7. 役割と責任・権限・・・・・・・・ P8
- 8. 環境目標と活動実績・・・・・・・・ P9
- 9. 環境活動の結果と評価・・・・・・・・ P9
- 10. 代表者による全体の評価と見直し・・・ P14
- 11. 環境保全活動・・・・・・・・・・・・ P15
- 12. 資格・免許・認定・・・・・・・・ P19



## 1. 会社概要

会社名 : いわて県北クリーン株式会社  
 施設名 : いわて第2クリーンセンター  
 所在地 : 〒 028-6505  
           岩手県九戸郡九戸村大字江刺家  
           第20地割48番地34  
 代表者 : 代表取締役 松島 義治  
 設立 : 平成18年4月  
 業務開始 : 平成21年4月  
 資本金 : 9,000万円  
 株主 : 株式会社タクマ ・ 株式会社タクマテクノス ・ 西松建設株式会社  
 事業内容 : 産業廃棄物の中間処理 ・ 一般廃棄物の中間処理  
 従業員数 : 32名  
 事業面積 : 約36,000㎡



会社の沿革：

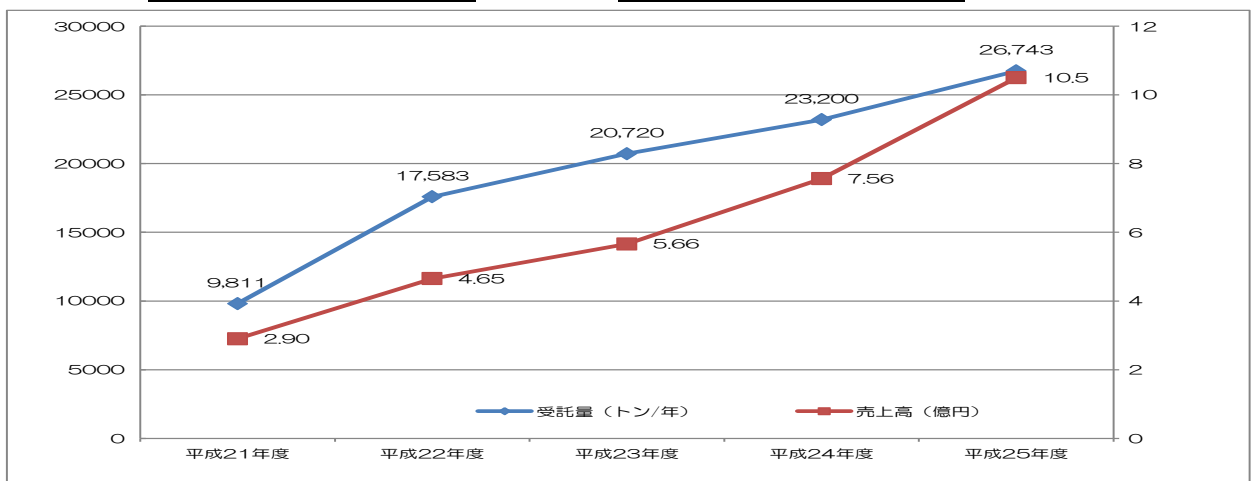
- 平成18年 4月12日：株式会社タクマ、株式会社タクマテクノス、西松建設株式会社の出資により設立
- 平成18年10月30日：環境大臣による廃棄物処理センター指定
- 平成19年 3月29日：産業廃棄物処理施設の設置許可取得
- 平成21年 1月 7日：産業廃棄物処理施設の処分業許可取得（許可番号：00329146787）
- 平成21年 1月 7日：特別管理産業廃棄物処理施設の処分業許可取得（許可番号：00379146787）
- 平成21年 4月 1日：事業開始
- 平成21年 6月 8日：一般廃棄物処理施設の処分業許可取得
- 平成21年 6月30日：基準適合産業廃棄物処理業者認定（中間処理★★取得）
- 平成22年 2月15日：エコアクション21取得
- 平成24年 8月30日：いわて地球環境にやさしい事業所認定 ★★★★★取得
- 平成26年 1月 7日：産業廃棄物処理施設の処分業許可更新取得（有効期限：平成31年1月6日）
- 平成26年 1月 7日：特別管理産業廃棄物処理施設の処分業許可更新取得（有効期限：平成31年1月6日）

環境管理責任者：村田 英敏

コミュニケーション窓口：千葉 明

TEL 0195-42-4085 FAX 0195-42-4550

Mail [info@iwate2cln.co.jp](mailto:info@iwate2cln.co.jp) URL <http://www.iwate2cln.co.jp>



## 2. 事業概要

本事業は、岩手県を発注者とするPFI事業で運営を行っています。岩手県の「自県内処理の推進」及び「資源循環型社会の形成」に基づき、多種多様な廃棄物を適正に処理するための「焼却設備」・「溶融設備」があり、あらゆる性状に対応が可能となっています。

処理施設は万全の環境保全対策が施された処理システムにより、排ガス・燃え殻及びばいじん等の処理も、安定的かつ安心な施設となっています。

溶融処理により発生するばいじんは、可能な限り山元還元（有価金属として再利用）により再資源化するとともに、溶融スラグは有価物として再資源化を図ります。



### 3. 施設概要と特徴

施設名称 : いわて第2クリーンセンター  
 設置規模 : ロータリーキルン&ストーカ炉 87.9 t/日 ×1 基  
                   燃料式表面溶融炉 13t/日 ×1 基  
 ボイラ型式 : 三胴式廃熱ボイラ  
 最高使用圧力 : 3.30 MPa  
 常用使用圧力 : 2.90 MPa  
 蒸気温度 : 241℃  
 最大蒸発量 : 10.2 t/h  
 タービン形式 : 復水タービン  
 発電出力 : 840 kW



#### 排ガス規制値

種類	法規制値	自主管理値
ダイオキシン類(ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	1.0	0.1
SO <sub>x</sub> (ppm 以下)	3,761 (K 値 17.5)	50 (K 値 0.25)
NO <sub>x</sub> (ppm 以下)	250	100
塩化水素(ppm 以下)	430	80
ばいじん(g/m <sup>3</sup> N 以下)	0.08	0.02

#### 多種多様な廃棄物（特管物を含む）の適正処理

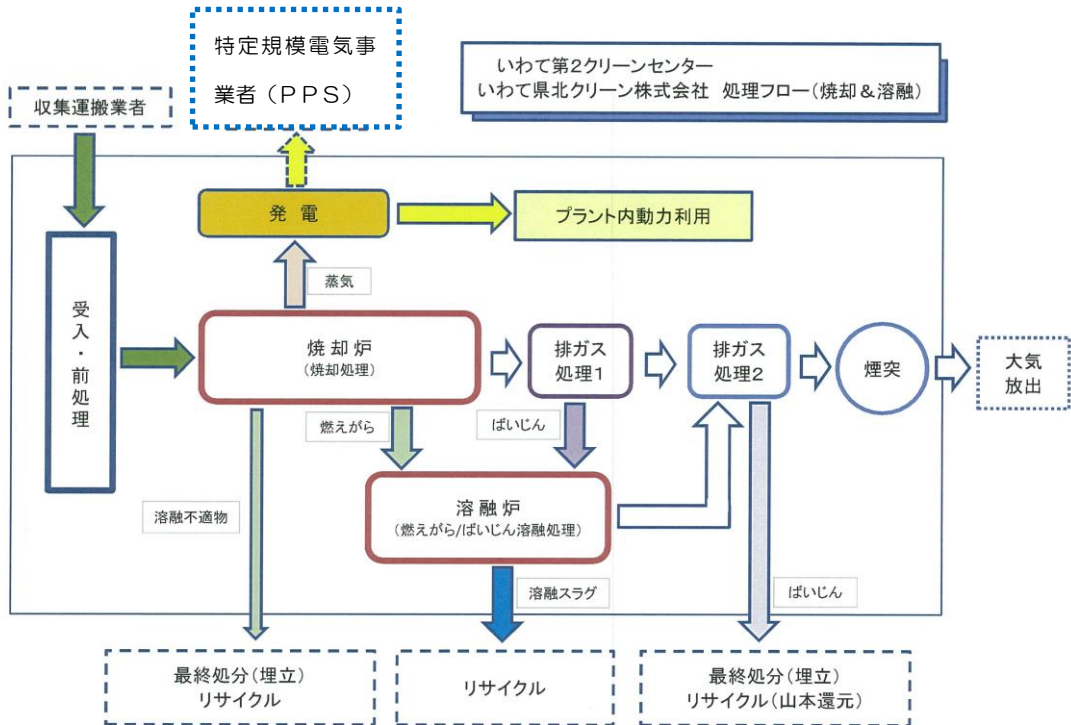
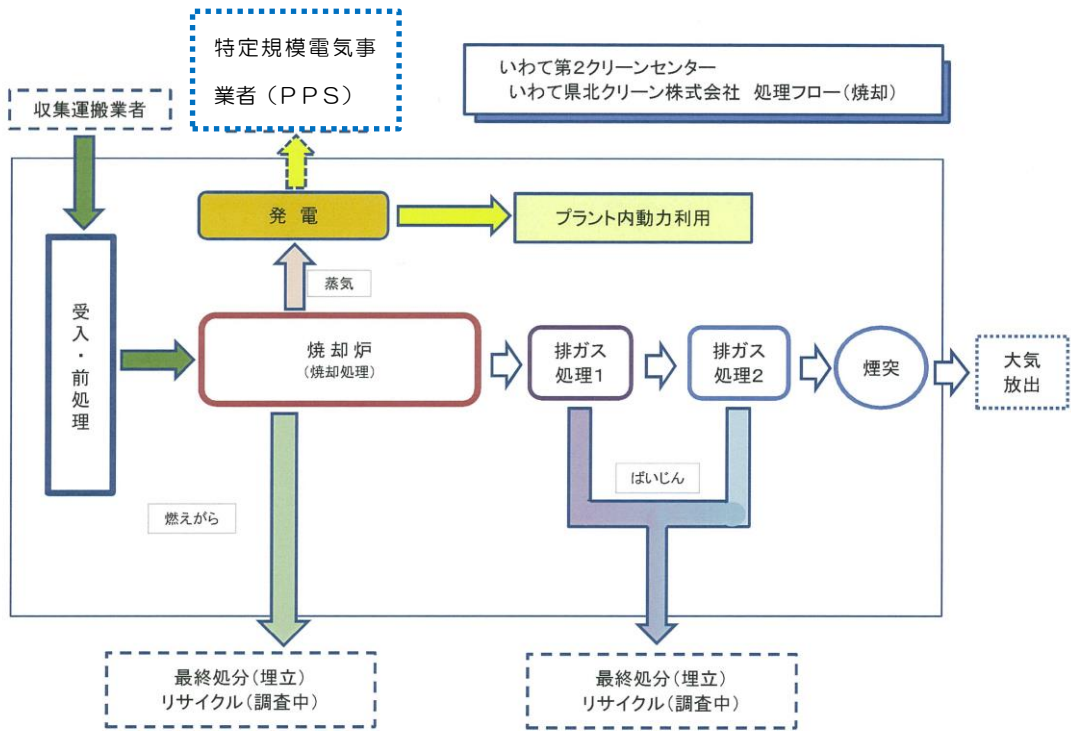
- ◎ 高温処理による完全燃焼と無害化
  - ・焼却炉内温度 850℃以上（自主管理値） ※法規制値 800℃以上
  - ・溶融炉内温度 1300℃以上

#### 省エネ・資源リサイクルの促進

- ◎ 蒸気タービン発電機 Max840 kW（発電設備） ※廃熱ボイラ蒸気利用  
施設内で使用する電力の全量供給及び余剰電力の売電
- ◎ 白煙低減用排ガス加熱器（煙突からの蒸気白煙を低減させる設備） ※廃熱ボイラ蒸気利用  
排ガス中の水蒸気によって煙突から出る白煙を低減
- ◎ 溶融スラグを路盤材・建設資材等に利用することでの資源リサイクル
- ◎ 焼却灰・溶融飛灰は精錬会社にて有効的に鉱物類を回収することでの資源循環の形成

#### 周辺環境への配慮

- ◎ 排ガスは環境にやさしい管理値を設け、地域環境保全に配慮
- ◎ クローズドシステムによりプラント排水及び生活排水は施設内において再利用し、場外へは無放流
- ◎ 騒音・振動の発生を抑制した設備の導入及び防音材設置や振動対策床基礎の導入
- ◎ 臭気を外部に放出させない換気システム



## 4. 許可品目

### 焼却施設

#### ○産業廃棄物

- ① 廃プラスチック類
- ② 廃油
- ③ 廃酸
- ④ 廃アルカリ
- ⑤ 木くず
- ⑥ 紙くず
- ⑦ 繊維くず
- ⑧ 汚泥
- ⑨ 動植物性残渣
- ⑩ 動物系固形不要物
- ⑪ ゴムくず
- ⑫ 金属くず（他の性状と一体となり分別できないものに限る。）
- ⑬ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（医療系廃棄物に限る。）



#### ○特別管理産業廃棄物

- ① 廃油
- ② 廃酸
- ③ 廃アルカリ
- ④ 感染性産業廃棄物
- ⑤ 汚泥



### 熔融施設

#### ○産業廃棄物

- ① 廃プラスチック類
- ② 汚泥

#### ○特別管理産業廃棄物

- ① 汚泥



イベント紹介 H26.1.6  
安全祈願（九戸神社宮司様）



イベント紹介 H25.9.1  
村民スポレク大会 ソフトボールの部 優勝



## 環境方針

### 《基本理念》

いわて県北クリーン株式会社は、積極的に熱利用を行い、廃棄物の未利用エネルギーを効率的に利用することで CO<sub>2</sub> を削減し、地球温暖化の防止や循環型社会の形成に貢献します。そのためにエコアクション 21 のシステムを導入し環境活動を展開します。

### 《行動指針》

1. 環境にやさしい事業運営に努めると共に、地域社会に貢献する企業をめざし活動に取り組みます。
2. 事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理項目として取り組みます。
  - (1) 二酸化炭素の排出量削減に努めます。
  - (2) 廃棄物の削減及びリサイクルに努めます。
  - (3) 使用する水の抑制に努めます。
  - (4) グリーン購入の推進に努めます。
3. 事業活動に関連した環境関連法規を遵守します。
4. 地域との連携を密にし、環境保全活動に積極的に参加します。
5. 環境方針は社内に掲示し、教育及び会議を通じ社員に理解を深め、積極的に取り組みます。



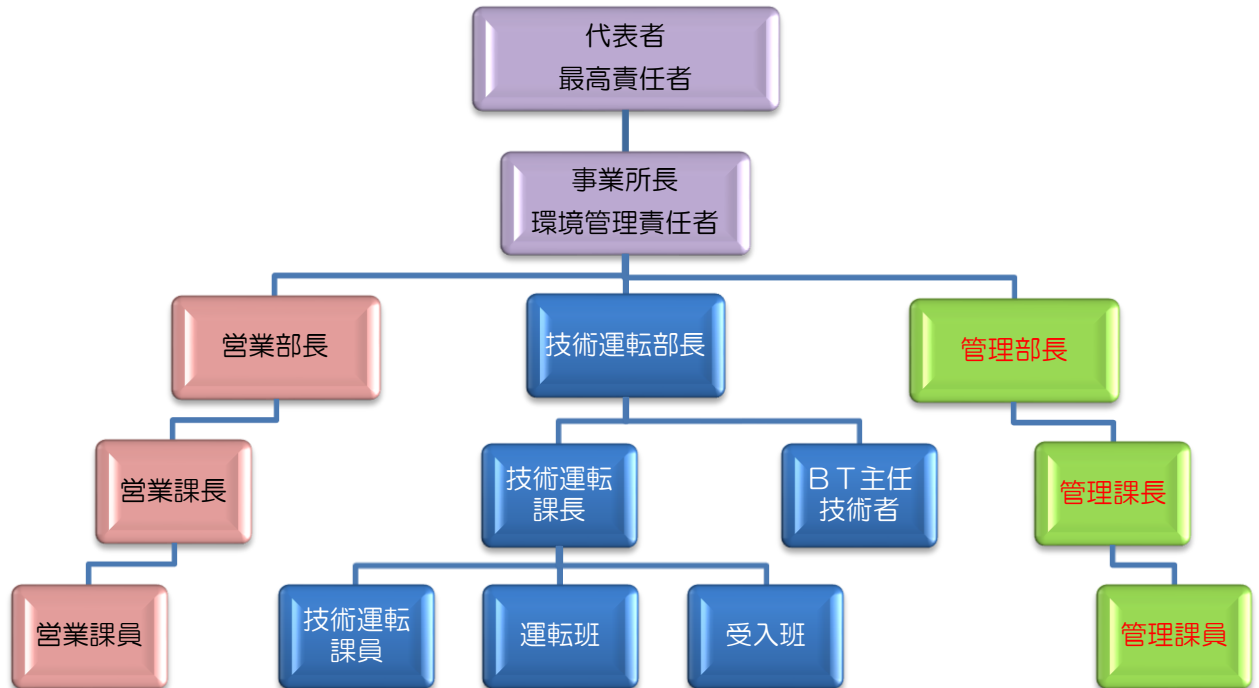
平成 25 年 10 月 18 日

いわて第 2 クリーンセンター

いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 **松島 義浩**

## 6. 組織図



## 7. 役割と責任・権限

役割	担当者	役割と責任・権限
代表者	代表取締役	①環境管理責任者の任命 ②環境管理責任者から報告を受けて全体の見直し ③取組に対する資源を用意
環境管理責任者	事業所長	①代表者に代わって環境管理システムを構築し、継続的に運営 ②関連法規の把握をして代表者に情報を報告
E A21 事務局	事業所長 または代務者	①環境管理責任者に代わってデータ収集 ②各部署へE A21の達成目標を周知 ③各部署の実施状況を把握し、環境管理責任者へ報告 ④必要な教育訓練の計画及び実施
防災責任者	事業所長	①防災計画の立案 ②火元責任者の選任
安全運転管理者	管理部長	①安全運転のために必要な教育・訓練の実施 ②エコドライブの積極的な推進
各部門長	各部長	①各取組み項目の把握及び実施状況の確認 ②各部署へ取組み項目の達成状況を周知 ③必要に応じて各取組み項目の是正及びその指示 ④環境配慮・緊急事態に関する予防措置
社員	全社員	①各実施項目に対して積極的に取組むように努める ②環境保全活動への積極的な参加



## 8. 環境目標と活動実績

各年度目標値に対する達成度

■ 目標達成 ■ 目標未達

※達成判定は目標値±10%範囲とする

		単 位	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
1	受電電力量の削減	kWh/t	165.0	81.6	61.3	23.3	9.1
2	重油使用量の削減	L/t	16.8	4.0	3.1	1.2	0.95
3	軽油使用量の削減	L/t	1.70	1.74	1.77	1.85	1.97
4	ガソリン使用量の削減	L/t	—	—	—	0.43	0.36
5	水資源投入量の削減	m <sup>3</sup> /t	0.85	0.83	0.63	0.75	0.63
6	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> /t	1130	57.4	44.0	20.3	13.5
7	発電電力量の向上	kWh/t	189.0	157.1	119.2	152.0	164.4
8	廃棄物受託量の増加	t/年	—	—	20,723	23,168	26,743
9	消石灰使用量の削減	kg/t	32.9	35.9	27.0	25.5	27.8
10	グリーン購入率の向上	%/年	—	—	—	73.1	63.3

## 9. 環境活動の結果と評価

### 「 受電電力量の削減 」

平成 25 年度 目標 23.3kWh/t

平成 25 年度 実績 9.1kWh/t

達成率 161.1%

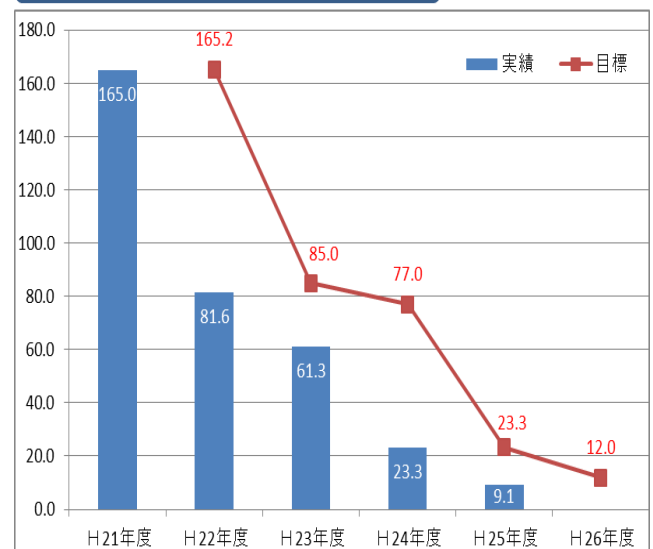
#### 取組内容

- ①効率的な焼却炉の運転及び蒸気タービン発電機の稼働
- ②使用しない照明及び空調を消す

#### 活動結果と評価

焼却炉の連続運転が達成できたこともあり、通年で安定的な発電が出来た。それにより受電電力量の大幅な削減となった

### 受電電力量の削減 (kWh/t)



<平成 26 年度 目標 12.0kWh/t>

#### 取組内容

- ①効率的な焼却炉運転を継続することで、安定的な発電を行い、受電電力量を削減する

## 「 重油使用量の削減 」

平成 25 年度 目標 0.83L/t

平成 25 年度 実績 0.95L/t

達成率 86.0%

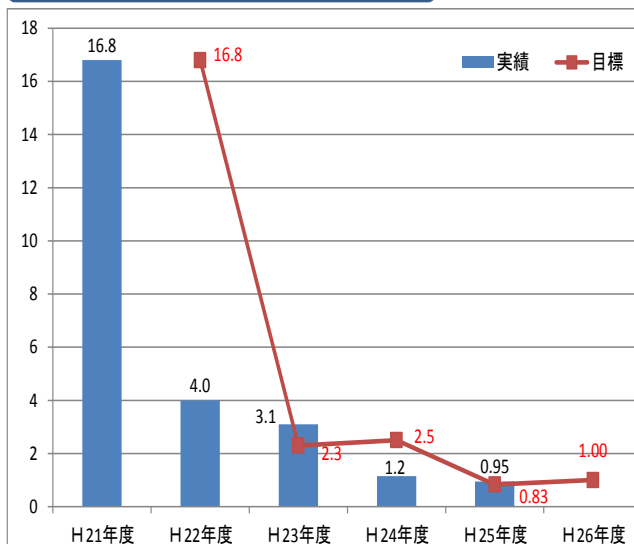
### 取組内容

- ①焼却炉へ投入する廃棄物を十分に攪拌して性状を均一化することでの安定燃焼
- ②焼却炉の連続運転を行うことにより、立上げ・立下げ時に使用する重油を削減

### 活動結果と評価

結果としては「未達」となったが、原因は別設備トラブルによる焼却炉の立上げ・立下げが繰り返されたことが原因である

重油使用量の削減 (L/t)



<平成 26 年度 目標 1.0L/t >

### 取組内容

- ①焼却炉の立上げ・立下げ時の使用重油の削減と、燃焼温度の重点監視により助燃用重油の使用量を削減

## 「 軽油使用量の削減 」

平成 25 年度 目標 1.75L/t

平成 25 年度 実績 1.97L/t

達成率 87.3%

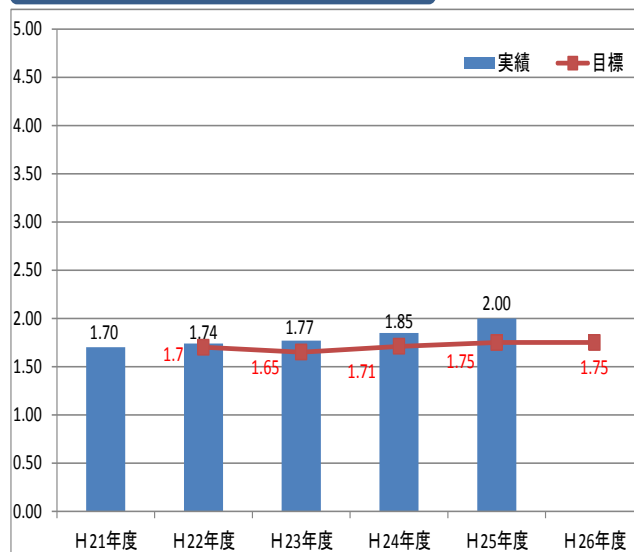
### 取組内容

- ①不要なアイドリングストップ
- ②急加速・急発進の禁止

### 活動結果と評価

アイドリングストップが徹底されたとは言えず、達成率も悪かった。細かな活動内容には改善できる余地が多々あると思うので、次年度以降に反映させる

軽油使用量の削減 (L/t)



<平成 26 年度 目標 1.75L/t >

### 取組内容

- ①削減に対する意識を、従業員一人一人が向上させて取組む

## 「 ガソリン使用量の削減 」

平成 25 年度 目標 0.38L / t  
 平成 25 年度 実績 0.36L / t  
 達成率 105.7%

### 取組内容

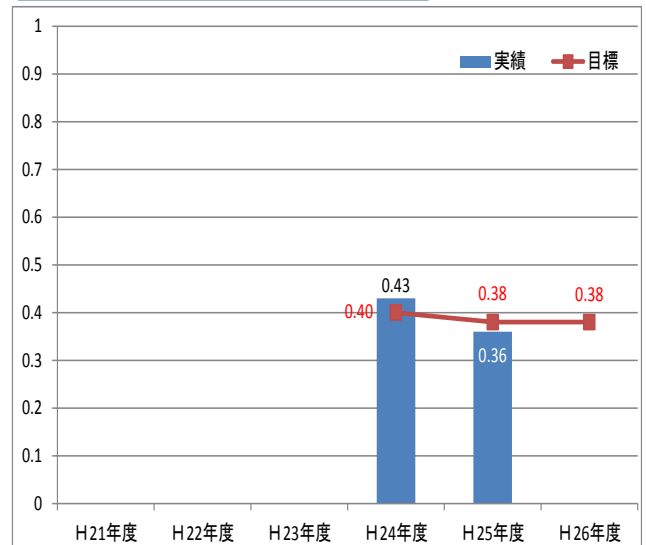
- ①急加速・急停止を避ける
- ②アイドリングストップをこまめに行う

### 活動結果と評価

平成 25 年度中間実績結果を受け、各自で運転方法の見直しを行ったことで目標を達成することができた

※実績集計は平成 24 年度から実施

ガソリン使用量の削減 (L / t)



<平成 26 年度 目標 0.36L / t >

### 取組内容

- ①平成 25 年度と同様に、自らの運転方法を見直すことで削減に努める

## 「 水資源投入量の削減 」

平成 25 年度 目標 0.80L / t  
 平成 25 年度 実績 0.63L / t  
 達成率 121.8%

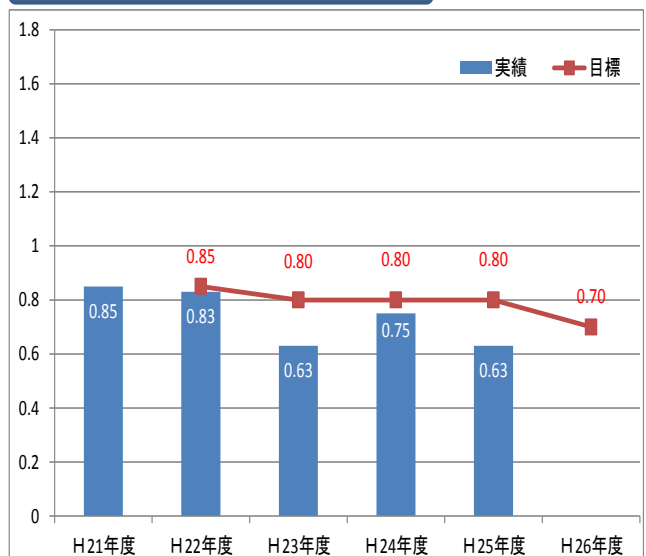
### 取組内容

- ①上水の代わりに使用する雨水を溜めている水槽のレベルを常時監視して節水に努める

### 活動結果と評価

雨水の有効的な利用により目標を達成できたが、まだ運用的に改善する余地があるので、次年度以降の課題とする

水資源投入量の削減 (m<sup>3</sup> / t)



<平成 26 年度 目標 0.70L / t >

### 取組内容

- ①雨水ポンプの運転稼働状況を定期的に監視し、友好的に雨水を利用することで上水使用量を削減



### 「 温室効果ガスの削減 」

平成 25 年度 目標 22.2k g-CO<sub>2</sub>/t

平成 25 年度 実績 13.5k g-CO<sub>2</sub>/t

達成率 139.1%

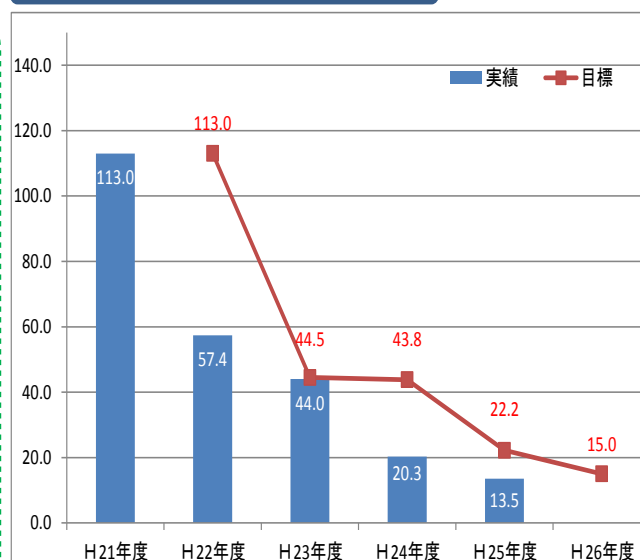
#### 取組内容

①受電電力・重油使用量・軽油使用量を重点的に把握するとともに、焼却炉の安定かつ連続運転の動向をチェックする

#### 活動結果と評価

受電電力は焼却炉連続運転により大きく改善されたため、CO<sub>2</sub>排出量も大幅に改善された。しかし重油及び軽油使用量は目標に届かなかったため、まだ改善の余地はある

### CO<sub>2</sub>排出量の削減 (k g-CO<sub>2</sub>/t)



<平成 26 年度 目標 15.0k g-CO<sub>2</sub>/t >

#### 取組内容

①焼却炉の連続運転による燃料投入量削減

### 「 発電電力量の向上 」

平成 25 年度 目標 148.0kWh/t

平成 25 年度 実績 164.4kWh/t

達成率 111.1%

#### 取組内容

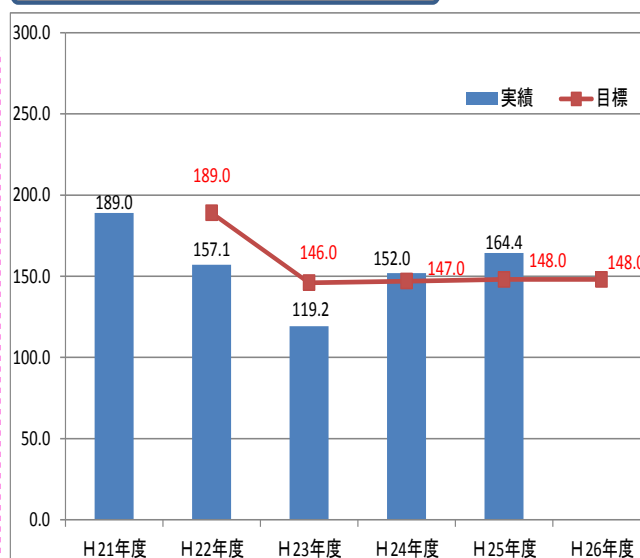
- ①年間計画に沿った定期的なメンテナンス
- ②適正な投入カロリーゴミの確保

#### 活動結果と評価

蒸気タービン発電機の計画的なメンテナンス実施により、安定的な稼働ができた。

焼却炉運転中の発電状況についても、安定的な出力を維持し、効率的な発電が実施された

### 発電電力量の向上 (kWh/t)



<平成 26 年度 目標 148.0kWh/t >

#### 取組内容

- ①日常点検の強化
- ②安定的なごみ量の確保

### 「 廃棄物受託量の増加 」

平成 25 年度 目標 24,000 t/年  
 平成 25 年度 実績 26,743 t/年  
 達成率 111.4%

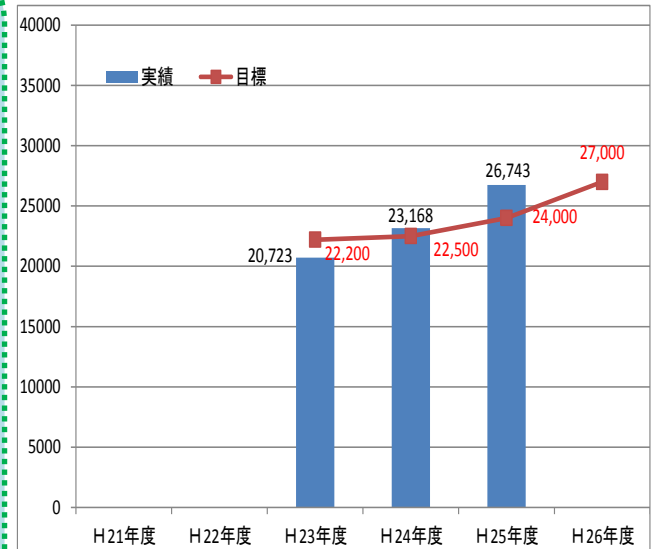
#### 取組内容

- ①県内全域への効率的かつ積極的な営業活動

#### 活動結果と評価

災害廃棄物処理に伴う搬入や、スポット案件を多数受注できたことにより、目標を達成することができた

廃棄物受託量の増加 (t/年)



<平成 26 年度 目標 27,000 t/年>

#### 取組内容

- ①引き続きのスポット案件の確実な受注

### 「 消石灰使用量の削減 」

平成 25 年度 目標 25.5 kg/t  
 平成 25 年度 実績 27.8 kg/t  
 達成率 90.9%

#### 取組内容

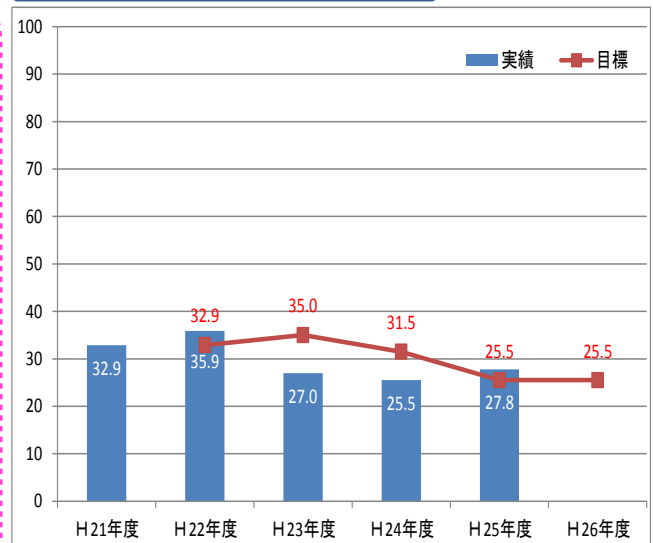
- ①営業・受入・運転において廃棄物の情報を共有する
- ②ゴミを均一化し消石灰の過剰吹込みを削減

#### 活動結果と評価

目標値は達成となり、中間結果後の具体的な取組活動の効果と思う

多種多様な廃棄物性状により変動する排ガス性状を安定化させ、消石灰使用量を削減

消石灰使用量の削減 (kg/t)



<平成 26 年度 目標 25.5 kg/t >

#### 取組内容

- ①引き続きのスポット案件の確実な受注

## 「グリーン購入率の向上」

平成 25 年度 目標 70.0%/年

平成 25 年度 実績 63.3%/年

達成率 90.5%

### 取組内容

①事務用品・消耗品等のうち、グリーン商品のあるものは優先的にグリーン商品を購入する

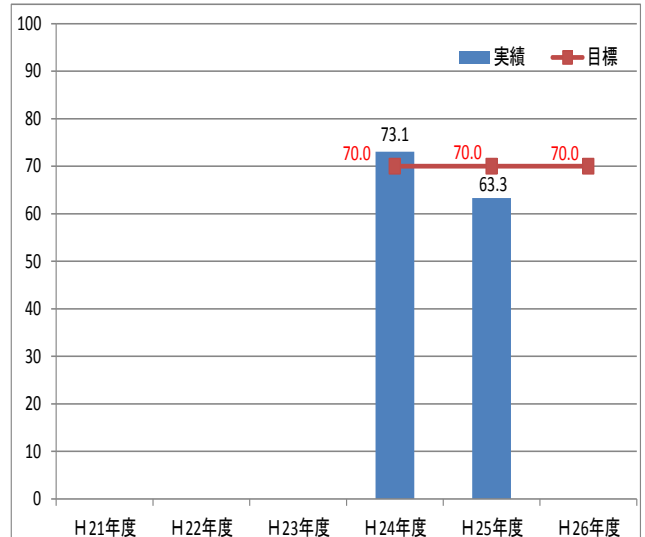
### 活動結果と評価

グリーン商品の優先購入により目標達成できたので、継続してグリーン商品のピックアップ及び優先購入を継続する

グリーン商品だけでなく、再生品等の環境に配慮した商品も積極的に活用する

※実績集計は平成 24 年度から実施

グリーン購入率の向上 (%/年)



<平成 26 年度 目標 70.0%/年>

### 取組内容

①より具体的なピックアップにより、グリーン商品の購入数を増加させ、達成率の向上を図る

## 10. 代表者による全体の評価と見直し

### 1.結果に対する評価

平成 25 年度は 2 項目が未達であったが、重油については設備不具合による原因が明確であり、次年度以降は焼却炉の連続運転を継続するとともに、目標達成に向けて励むこと

### 2.全体の見直し

各担当者が中心となり、目標達成に向けてのアイデアが出るような体制作り（改善提案制度）と、各グループの活動項目・具体的取組みを全員が確認できるようにすること

### 3.次期取組みへの指示

- ①焼却炉年間運転日数 330 日以上必達
- ②焼却炉運転日数増による効率的な用役使用量の削減と発電量（売電量）の向上
- ③外部の環境保全活動への参加と、社内教育訓練の積極的な実施及び参加



## 11. 環境保全活動

実施日	実施項目	実施内容
4月20日	清掃活動	最寄の県道から、施設までの村道約1.8kmの沿道の清掃活動
9月21日	草刈り作業	施設内のほか、周辺の草刈り作業
9月28日	伐採作業	沿道の枝木伐採作業
10月1日	3R推進研修会	家庭・地域から始める3R運動の研修会受講
10月4日	県北地域環境保全リーダー養成研修会	①岩手県の地域温暖化防止活動推進について ②まちづくりに対するエコの関わり方 ③ワークショップ「イベントにおけるエコ普及活動」
11月7日	エコスタッフ養成セミナー	①地球温暖化について ②いわて地球環境にやさしい事業所認定について ③環境マネジメントシステムについて ④事業所における省エネ活動について ※講師：いわて県北クリーン株式会社 村田事業所長代行
12月7日	カシオペア環境講演会	①県境産廃処理の現状について（岩手県） ②廃棄物とリサイクルについて（岩手大学 小野寺准教授）

### 「クリーン九戸行動日 参加」

4月20日に行われた九戸村主催の「クリーン九戸行動日」に10名が参加し、村道のゴミ拾いを実施しました。平成21年の施設開業の翌年から毎年10名以上の従業員がボランティアで参加しており、今年で4回目の参加となりました。



### 「岩手県 環境生活部 見学」

6月7日に岩手県環境生活部の21名が来場し、施設の見学を実施しました。初めての来場者が多く、環境に配慮した設備が多数ある施設であることが良く解ったなどの意見がありました。特に排ガス処理の基準や最新鋭の処理装置があることや、熱回収による発電を紹介しました。



### 「 不法投棄パトロール 参加 」

6月27日に県北広域振興局主催の不法投棄パトロールに、産業廃棄物協会県北支部会員として参加しました。昨年の二戸市内に続き、一戸町内でパトロールを実施しました。今回も適正処理されずに投棄された多数の廃棄物が確認されており、未だに堪えない不法投棄の現状を目の当たりにしました。



### 「 県北地域環境保全活動リーダー養成研修会 参加 」

6月28日の研修会では、「馬淵川の水生生物の調査」をテーマに開催され、綺麗な水を好む昆虫などの生物の数と、反対に汚い水を好む生物の数を数え、「川のきれい度」を計る調査です。講師による座学のあと、実際に馬淵川で生態調査を行い、色々な昆虫などを沢山見ることができました。



### 「 九戸村環境保全連絡協議会 見学 」

8月2日に九戸村環境保全連絡協議会 15名の見学がありました。施設概要の説明のあとに施設見学を行い、多種多様な廃棄物処理が安全・安心かつ適正に処理が可能であり、あらゆる工程で環境へ配慮した設備やシステムを導入している事と、廃熱を有効利用した蒸気タービン発電機によるサーマルリサイクルも行っている事を紹介しました。



### 「 環境報告書作成研修会 参加 」

12月10日に環境報告書作成研修会に参加しました。環境報告書は事業報告会やエコアクション21にも活用するものであり、関係企業や地域住民との環境コミュニケーションに必要不可欠であると考えています。

岩手県及び環境保全連絡協議会では容易に環境報告書を作成できるように作成マニュアルを推奨しています。





### 「平成25年度 事業報告会・環境報告会」

平成26年1月14日に事業報告会及び環境報告会を開催しました。地域住民様・地域代表者様をはじめ、岩手県環境生活部資源循環推進課様、県北広域振興局様、九戸村住民生活課様、その他関係企業・団体様等々に参加していただき、平成24年度の年間運営実績や環境活動の取組み状況を報告しました。環境保全活動では地域の清掃活動への参加や不法投棄パトロールへの参加など積極的に外部の活動へ参加していることを報告しました。その他の環境関連として各種環境イベントへの参加や講習会・講演会等にも積極的に参加し、多方面から情報を収集して社内の環境活動に活用しています。また、施設設備自体が環境に配慮した機器等を多数選定していることや、施設フロー自体でも環境配慮システムを導入していることなどを広く紹介しました。



3月23日・30日に施設を設置している九戸村江刺家地区全8地区を対象に事業報告会を開催しました。以前は施設内において開催していた事業報告会でしたが、より多くの地域住民の方に「いわて県北クリーン株式会社（いわて第2クリーンセンター）」の事業内容や運営実績を知っていただくことを目的として行いました。施設紹介では環境に配慮した施設であるほか、公害防止に関して国の法律に比べ、遥かに厳しい自主規制値を設けて運用しているなどを説明しました。廃棄物については、多種多様な廃棄物処理が可能な施設であり、開業当初から青森・岩手県境不法投棄廃棄物の処理や、東日本大震災由来の廃棄物の処理を行ったことも紹介しました。





### 「平成25年度 避難訓練・消火訓練」

平成26年1月17日に二戸消防署九戸分署による、平成25年度避難訓練と消火訓練を実施しました。廃棄物をストックしているプラットホームより火災が発生したとの想定で訓練を行い、状況確認のための初動訓練のほか、初期消火対応や実際に119番への訓練通報も行いました。毎年の訓練成果により過去最短時間での避難完了となりました。

消火訓練では、訓練用の水消火器により、模擬火炎に対しての水噴射訓練を行いました。消防署の指導の下で、噴射する場所や角度のほか、火炎への近づき方などの基本的な動作や使用方法を学びました。初めて消火器を扱う者もあり、貴重な体験をすることができました。



### 「拡散防止訓練」

平成26年1月30日に拡散防止訓練を行いました。訓練は「廃油が漏洩して雨水側溝に流入」との想定で行い、拡散防止の初動活動の実施及び連絡方法の確認を行いました。側溝内に流入した際の模擬訓練も行い、万が一の場合に被害を最小限に留めるための対応を訓練しました。

また2月11日には拡散防止訓練の机上教育として、取り扱う廃棄物中の廃液及び廃油をテーマとして取り上げ、あらゆる性状・物性等のデータにより、取扱方法や作業方法等があることを改めて確認するとともに、各自で普段行っている作業方法を見直す機会となりました。



### 「 九戸村 産業文化まつりへ出展 」

11月2日～3日に行われた、九戸村産業文化まつりへ昨年度に引き続きブースを出展しました。地域の方々に「いわて県北クリーン株式会社」について広く知っていただくとともに、日頃の事業内容や環境活動を紹介することを目的として出展しました。

施設の紹介・事業内容・環境活動実績等々をパネルで掲示して地域の皆様に見学していただきました。また、環境に関するクイズを会場の至る所に掲示して問題を探しながらクイズを解いていくゲーム形式なことも取り入れ、特に小学生に好評となりました。

廃棄物の搬入についての質問をする方や、廃棄物の種類が良く解らないなど、廃棄物処理に係る質問をされる地域の方も多数あり、適正処理の方法を説明しました。

この産業文化まつりは、特に九戸村の地域住民の方と直接対話することができる貴重なイベントであり、今後も継続して出展していきたいと思っています。



### 「 小学校4年生の見学 」

6月6日に九戸村立伊保内小学校4年生の見学がありました。社会科の授業でゴミ処理について学ぶ一環として見学し、どのようにしてゴミを燃やしているかなどを学習しました。



## 12. 資格・免許・認定

	資 格 ・ 取 得	取得者数
E C O	エコスタッフ講習	2名
	環境社会検定試験（ECO検定）	2名
	エコドライブ講習	1名
管 理 士	産業廃棄物処理施設技術管理士	4名
	一般廃棄物処理施設技術管理士	3名
	破碎・リサイクル施設技術管理士	3名
	浄化槽管理士	1名
	2級土木施工管理士	1名
廃 棄 物 関 係	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	3名
	産業廃棄物処理業に関する講習（処分業課程）	2名
	産業廃棄物処分業に関する講習（収集・運搬業課程）	1名
	特別管理産業廃棄物処理業に関する講習（処分業課程）	2名
	特別管理産業廃棄物処分業に関する講習（収集・運搬業課程）	1名
	産業廃棄物処理実務者研修会基礎コース	7名
車 両 免 許	第一種普通自動車免許	32名
	第一種大型自動車免許	9名
	大型特殊自動車免許	11名
	けん引第一種免許	1名
車 両 整 備	ガソリン自動車整備士2級	1名
	ガソリン自動車整備士3級	2名
	ディーゼル自動車整備士3級	1名
	シャシ整備士3級	1名
ボ イ ラ 関 係	第2種ボイラ・タービン主任技術者	1名
	1級ボイラ技士	7名
	2級ボイラ技士	11名
	2ボイラ技士実技講習	15名
	ボイラ整備士	1名
	ボイラ取扱従事者安全衛生教育	1名
電 気 関 係	第一種電気工事士	1名
	第二種電気工事士	4名
	低圧電気取扱者教育	1名
	二級電気工事施工管理技士	1名



	資 格 ・ 取 得	取得者数
危 険 物 関 係	甲種防火管理者	2名
	甲種4類消防設備士	1名
	乙種第1類危険物取扱者	1名
	乙種第2類危険物取扱者	1名
	乙種第3類危険物取扱者	1名
	乙種第4類危険物取扱者	14名
	乙種第5類危険物取扱者	2名
	乙種第6類危険物取扱者	1名
	発破技士	1名
技 能 講 習 ・ ク レ ン	車両系建設機械（整地等）	24名
	車両系建設機械（解体）※特例講習含む	16名
	フォークリフト技能講習	26名
	玉掛け技能講習	11名
	ガス溶接技能講習	20名
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	18名
	有機溶剤作業主任者技能講習	6名
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	4名
	特定化学物質等作業主任者技能講習	1名
	足場組立作業主任講習	1名
	乾燥設備作業主任者	1名
	コンクリート解体技能講習	1名
	小型移動式クレーン運転技能講習	7名
	床上操作式クレーン運転技能講習	2名
クレーン運転業務特別教育	27名	
特 別 教 育	ダイオキシン類ばく露防止特別教育	1名
	ダイオキシン類特別教育	28名
	安全衛生推進者養成講習	2名
	安全衛生推進者能力向上教育	1名
	第2種酸素欠乏等危険作業特別教育	1名
	アーク溶接特別教育	16名
	粉じん作業特別教育	1名
	ローラー運転業務に係る特別教育	1名
	締固用機械（無制限）特別教育	1名
	チェーンソー伐木業務特別教育	1名
	普通救急救命講習	16名
	自由研削用といし作業特別教育	6名
	刈払い機作業安全衛生教育	2名

【所在地案内図】



いわて県北クリーン株式会社  
(Iwate-Kenpoku Clean Co.,Ltd.)